



全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ第1戦 琵琶湖東近江クリテリウム大会 大会要項

20190422ver

主催 日本学生自転車競技連盟
運営協力 滋賀県自転車競技連盟・京都府自転車競技連盟
後援 東近江市・東近江市教育委員会
協賛 ワールドサイクル・ベックオン
大会日程 2019年4月27日(土)

08:00～堤防前扉開門

11:00～11:30 受付

11:30～役員ミーティング

11:30～12:00 試走

12:30 男子クラス3-1 組

13:15 男子クラス3-2 組

14:00 男子クラス2-1 組

15:00 男子クラス2-2 組

16:00 男子クラス1

レース終了後表彰式

※参加者数によっては各クラス1組のみにする場合もある。また、参加者数が多数の場合は各クラス3組に分ける場合もある。

会場 滋賀県東近江市栗見新田町 東近江ふれあい運動公園特設コース 1周 2.0 km 標高差 0m

大会主旨 本大会は、当該年度・日本学生自転車競技連盟(以下、「本連盟」という)に登録した学連登録選手による。クリテリウムの優勝者を決め、学生自転車競技者の競技レベル向上に寄与すること、ならびに地元自転車競技者との交流親交をはかり、サイクルスポーツの発展に寄与する事を目的とする。

競技種目 男子クラス3 20.0 km(10周)・男子クラス2 32.0 km(16周)・男子クラス1 40.0 km(20周)
~~女子16.0 km(8周)~~

参加資格 当該年度に有効な(公財)日本自転車競技連盟(以下、「JCF」という)登録競技者のうち、本連盟加盟校の登録選手とする。

参加申込 参加を希望する選手は、学校単位で所定の様式にて4月5日(水)までに、以下のメールアドレスに申し込むこと。hiro-i@st.ritsumei.ac.jp
また、同一内容を郵送にて下記の住所に期限内に送付すること。
〒004-0001 札幌市厚別区厚別東1条3-9-25 日本学生自転車競技連盟 石井 洋宛
申込書式はJICFウェブサイトより入手できる。参加費は男女とも1名につき4,000円とする。支払期限までに支払を済ませること。支払完了することで参加申込受付完了となる。振込みは、学校単位で申し込むこと。振込元に、学校名と参加人数が分かるように記入すること。

- ・振込先 北洋銀行 厚別中央支店 普通 4617199
- ・口座名義 日本学生自転車競技連盟

申込期限及び参加費支払期限は4月5日(水)とする。

なお一旦入金された参加費は如何なる理由があろうとも返金しない。また、正当な理由なき欠場者には、参加費と同額のペナルティを課す。本申込み手続きを以って本要項記載の誓約書に同意したものとみなす。

選手受付 1.11時～12時の間にライセンス(または、登録手続き中であることを証明する書類)を提示してゼッケンを受け取ること。
2.選手は、競技開始15分前までにバイクチェック、サインシートに出走サインを自署すること。

賞典 各クラス優勝者1位～3位賞状・賞品 4～8位賞状

式典 上記対象者について、原則としてクラス1終了後に特設ステージにて行う。
出走者のうちクラス3の上位5%(小数点以下切上げ)の者はクラス2に昇格する。
出走者のうちクラス2の1位(複数組ある場合は各組の1位)はクラス1に昇格する。

事故措置 1.競技中発生した事故等については主催者にて応急処置の範囲の体制は準備するが、以降は各自の責任と費用負担において対応のこと。
2.選手は、各自の責任において傷害保険に加入し、健康保険証を必ず持参すること。競技規則 JCF 競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。



全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ第1戦 琵琶湖東近江クリテリウム大会 特別規則

第1条(競技)

- 1.男子クラス3、女子はロードレース方式、男子クラス2、男子クラス1はポイントレース形式とする。
ポイントレースは完走周回数と、中間スプリントで与えられる得点を基に最終順位を決定する。周回数において同等の場合は、得点の多寡による。周回、得点において同等の場合は、中間スプリントの勝数による。以上においても同等の場合は、最終スプリントの順位による。中間スプリントとして、2周回毎にフィニッシュラインを通過した先頭から5点・3点・2点・1点を与える。
最終ゴールは倍点を与える。(10点・6点・4点・2点)
- 2.女子および男子クラス3は、最終ゴール着順によって順位を決定する。
- 3.正式スタートは最初のコーナーを過ぎてからのモト審判の指示による。
- 4.飲食物の補給は認めない。
- 5.代車・代輪の交換は、認められる事故の場合に指定されたピットにおいてのみ認められる。
- 6.ピット監察員によって確認された認められる事故の場合、最後の2周を除き1周のニュートラリゼーションが与えられる。ニュートラリゼーション適用後最初の間スプリントでは、ポイントを獲得することができない。
- 7.男子クラス1の参加エントリーが少ない場合はクラス2と統合して行う場合がある。

第2条(失格・棄権)

- 1.原則として、先頭より1/2周回遅れた選手は失格とする。
- 2.競技を中止した選手は、コースから出て、速やかにゼッケンを外すこと。

第3条(その他)

- 1.ジュニア選手のギア比の制限は行わない。
- 2.大会当日以外の試走は一切禁止する。(大会開催の条件です。)
- 3.ボトル、食料の残り、包装等あらゆる固形物の投げ捨ては3,000円のペナルティを課す。
- 4.公道を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープは必須とする。
- 5.本大会は土日2日間(土曜日は学連レース、日曜日は一般大会)行われ、日曜日の用意のため駐車場近傍においてブースの区割り作業をレースと同時に進行。駐車場係から車の移動等を命じられた場合は速やかに移動させること。
- 6.翌日に開催されるRCS第2戦菜の花飯山ラウンドにも出場の選手で、本大会で昇格を決めた選手はクラス、カテゴリーが変わってくるので大会当日にカテゴリー、組を必ず確認する事。(ホームページで公開されるエントリーリストでは間に合わない場合がある。)

※本大会の問い合わせ等は下記まで。

全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ琵琶湖東近江クリテリウム大会事務局

〒004-0001 札幌市厚別区厚別東1条3丁目9-25 石井 洋

Email: hiro-i@st.ritsumei.ac.jp TEL 090-8384-0704

大会当日連絡先: 日本学生自転車競技連盟 北山一樹 090-5127-9651

注意: 大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。

誓約書

日本学生自転車競技連盟

会長 村岡 功 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

- 1.UCI(国際自転車競技連合)・JCF(日本自転車競技連盟)規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。(UCI規則 1.1.004, JCF規則第5条 2.(4))
- 2.大会(競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む)における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。(JCF規則第5条 2.(9)準用)
- 3.規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。(UCI規則 1.1.078)
- 4.チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。(UCI規則 1.1.079)
- 5.チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。彼は他の者の模範とならなければならない。(UCI規則 1.1.080)
- 6.すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。すべてのライセンス保持者はおどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしめたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCI および自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。(UCI規則 1.2.079)
- 7.競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。(UCI規則 1.2.081)
- 8.競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。競技者は開催国における法律を順守しなければならない。(UCI規則 1.2.082)

以上